

利用学習計画書

平成25年4月9日

担当 第6学年 角張 康浩

1 ねらい

地底の森ミュージアム・縄文の森広場での見学・体験学習を通して、歴史学習への興味・関心を高める。

2 評価

大昔の人々の暮らしについて興味をもち、見学や体験学習に意欲的に取り組むことができる。

3 学習活動について

社会科単元「縄文のむらから古墳のくにへ」

自分たちの住む仙台市の遺跡や展示資料を見学したり石器作りや勾玉作りを体験したりすることによって、これからの歴史学習に対してさらに意欲を持たせる。

4 事前指導

弥生時代やそれ以前の昔の人々の暮らしについて、教科書に沿って大まかに学習しておく。

5 当日の指導（活動）内容

（1）縄文の森広場

1）見学学習 「縄文の森広場 探検シート」を活用し、全体で館職員の説明を聞きながら学習する。

2）体験学習 全体で館職員の説明を聞きながら、勾玉作りの体験をする。

（2）地底の森ミュージアム

1）見学学習 「地底の森ミュージアム 学習シート」を活用し、全体で館職員の説明を聞きながら学習する。

2）体験学習 全体で館職員の説明を聞きながら、石器作りの体験をする。

6 当日の交通手段 貸し切りバス

7 事後指導

分かったことや感想をノート等にまとめる。

利用学習報告書

平成25年12月12日

担当 第6学年 角張 康浩

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年4月25日(木) 3・4校時

(2) 主な内容

- ・社会科の授業で学習してきたことをもとに、分かったことや疑問点、感想などをカードにまとめた。
- ・見学で使用了学習ノートの答え合わせを行った。

2 送付する資料

- ・児童の学習後の感想をまとめたもの(抜粋)
- ・見学・体験の概要をまとめたもの

校外学習（縄文の森広場・地底の森ミュージアム）報告

太白区にある“縄文の森広場”と“地底の森ミュージアム”の見学に行ってきました。“縄文の森広場”では見学と勾玉作りを、“地底の森ミュージアム”では、見学と石器作りをしました。みんな興味をもって取り組むことができました。

～ 縄文の森広場 ～



竪穴式住居です。火を焚くことで虫除けや、柱が丈夫になり長持ちするそうです。



竪穴式住居の内部です。案外広いです。昔の人は、大人でも 150cm ぐらいだったそうです。



村の風景です。快適で豊かな生活をしていたあとうかがえます。



勾玉作りに真剣に取り組んでいます。できあがった勾玉は、自分だけの宝物として大事に首から下げていました。

- 木の実をクッキーのようにして食べていたそうです。味はどうだったのか食べてみたいと思いました。（A女子）
- ずっと前から勾玉を作りたいと思っていたので、今日はとても楽しみでした。自分の好きな形に仕上げることができてとても満足しました。（B男子）

～ 地底の森ミュージアム ～



今から2万年前の風景が目の前に広がり、何ともいえない幻想的な雰囲気圧倒されました。昔の人の生活が分かりやすく解説されていて、自分たちの今の生活の便利さに改めて気づきました。

- 地底の森ミュージアムで展示されているのは、旧石器時代のものでした。ここで見つかったのは、針葉樹や鹿のフン、石器やたき火の跡でした。この時代の人類の進化では、新人と呼ばれ、石器を作って動物を狩ったり、肉を切ったりしていました。もしかすると今の生活の基礎を築いた人たちなのではないかと思いました。

（C男子）

- 2万年前の富沢は、今の北海道の気温と同じだったそうです。旧石器時代の人々の暮らしを再現したビデオを見ましたが、その撮影は北海道で行われたそうです。地球温暖化が随分進んでいるなあと思いました。

（D男子）

- 体験活動で、石器作りをしました。この石は、山形県でしか取れず、何日もかけて運んできたそうです。とても貴重なものと思いました。太ももに動物の皮をしき、石をその上に置いて鹿の角でたたきます。簡単にできそうに見えたけど、実際やってみると意外と難しかったです。

（E女子）